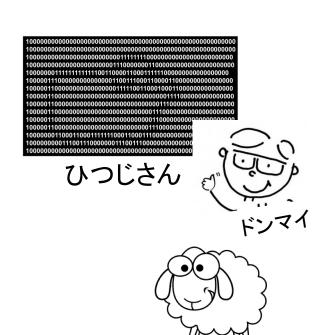
課題 四則演算でアニメーション

- 四則演算でアニメーションを 行う Ruby プログラムを作成
- 作成したプログラムに関する レポートを作成



提出方法

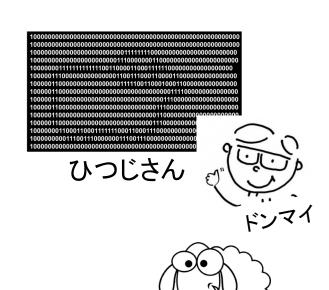
- OCWi から提出:10月10日 レポート課題1
- 提出期限: 10月17日 午前9:00
 - 10月17日 午後9:00までのレポートは、採点しますが、 大きく減点します。
- 提出物
 - レポート(PDFファイル): kadai1.pdf
 - プログラム: anime.rb

課題 四則演算でアニメーション

四則演算でアニメーションを 行う Ruby プログラムを作成

アニメーションプログラムの要求仕様

- 1. ファイル名は anime.rb とすること.
- 2. 動きがあること.
- 2. 「計算」を使うこと.
 - 演算は四則演算程度
 - 繰り返し文, 条件分岐文もOK
- 3. おもしろいこと. ← これはオマケ



要求仕様とは プログラムに要求される条件のこと

課題 四則演算でアニメーション

レポート内容



- 1. 作成したアニメーションプログラム anime.rb の使い方, ならびにアニメ効果の説明
- 2. 作成したアニメーションプログラムの計算の仕組みの説明
- 3. 工夫した点の説明(これは別途加点項目となる可能性有り) 付録:アニメーションプログラムを印刷したもの(配点5点)

<mark>採点基準(満点 15)</mark> レポート点数 (15) +工夫 (~ 10 ← 加点)

番外編

アニメーション・コンテスト

なんだってぇ! 俺の力作を見てくれ~!!

よろしい、見てあげましょう



採点者はプログラムも読むかも

アニメーションプログラムの例

ステップ1:絵を作る

```
# smile.rb
# 出力: スマイルマーク
d2 = 1000000000110000110000000000
d3 = 1000000000110000110000000000
d5 = 100000110000000000011000000
d6 = 100000011000000000110000000
d7 = 100000001100000001100000000
d8 = 10000000001111111110000000000
```

各変数には 28 桁の数が入っている その各々が絵の1 行分を表している.

```
t = 0
while t < 29
  puts(d1)
  puts(d2)
  puts(d3)
  puts(d4)
  puts(d5)
  puts(d6)
                t = 0 ~ 28 まで
  puts(d7)
                29 回繰り返す.
  puts(d8)
  puts(d9)
  puts(d10)
  puts()←
                   空行を出力
  sleep(0.1)
  t = t + \sqrt{1}
end
             「0.1秒休メ」という命令
```

アニメーションプログラムの例

ステップ2:動かす

```
# smile.rb
#出力:スマイルマーク
d2 = 1000000000110000110000000000
t = 0
 while t < 29
  puts(d1)
  puts(d2)
             画面に出す部分
  puts()
  sleep(0.1)
  d1 = d1 / 10
  d2 = d2 / 10
```

```
d3 = d3 / 10
d4 = d4 / 10
d5 = d5 / 10
d6 = d6 / 10
d7 = d7 / 10
d8 = d8 / 10
d9 = d9 / 10
d10 = d10 / 10
t = t + 1
end
```

あとは各自で工夫 して下さい